



# 教育に役立つ新たなツール

INDEX 02

## 端末は「貸し出し」

タブレット端末は無償で配備していますが、町からの「貸し出し」です。児童生徒は今回渡されたタブレット端末を小学1年生から中学3年生まで一貫して使用し、中学校卒業時に町に返却してもらいます。返却してもらったタブレット端末は、再び新しい小学1年生に使ってもらうので、児童生徒の皆さんは決して壊したりしないよう大切にしてください。



大事に使って返します！

また、今回のタブレット端末の導入に合わせて町教育委員会には専門の部署を設け、学校内のネットワークに不正アクセスや不具合がないか常時、監視しています。「キーボードが反応しない」といったタブレット端末を利用する上での不具合や「パスワードがわからなくなった」といったトラブルが起こった場合も即座に対応できる体制を構築しており、児童生徒の円滑な利用のために万全を期しています。

**今** 回、町内の小中学校の児童生徒に1人1台配備するためには教職員の分も含めると合計で約4000台にもなります。このタブ

約4000台のタブレット端末

START UP 01

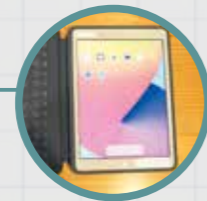
# 準備

## 導入

Preparation for tablet use

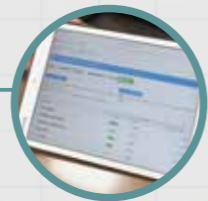
タブレット端末を各小中学校で1人1台ずつ貸し出し、授業や家庭学習で活用しています。小学校でも中学校でも貸し出しているタブレット端末は同型の製品で、学習に必要なアプリなどは最低限のものが既にインストールされており、必要に応じて追加インストールできる状態になっています。町ではまず、令和2年10月に町内の小中学校の教職員全員にタブレット端末を配備し、授業の中で円滑にタブレット端末を使用して児童生徒の理解に繋がられるよう町教育委員会主導で行う研修会や教職員同士の校内研修を何度も重ね、準備を進めてきました。児童生徒への端末の配備を概ね終えた現在も、端末をさらに有効活用するために研修や検討は続けています。

## DATA ICT化に向けて整備した機器 (一部抜粋)



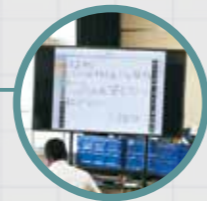
児童・生徒用  
タブレット端末

約3700台



教職員用  
タブレット端末

約300台



大型モニター

約250台

## 円滑に利用できる環境を整備

**児** 童生徒がタブレット端末を円滑に活用するために、各小中学校ではこれまで通信環境の整備を進めてきました。各教室で隔たりなくインターネットに接続できるようにWi-Fiの電波を校舎内のほとんどの場所を受信できるようにし、教室内の児童生徒が一齐にインターネットに接続しても回線が滞らないよう強靱なネットワークを構築しています。加えて、各教室には60型の大型モニターを設置しており、教職員のタブレット端末の画面を共有して映し出すことで大型モニターの画面を黒板代わりに使用したり、教職員からの課題を全員で確認できるようにしています。

# Information and Communication Technology



今回、町内の小中学校に1人1台導入したタブレット端末は、Apple社製のiPad。タブレット端末として必要な機能は基本的に網羅しており、小中学校の学習に利用するには十分なスペックがあります。

## 菰野町で導入した タブレット端末



Cover

落下などのある程度の衝撃に耐えられるよう子どもたちのタブレットにはカバーが付属しています。タブレット本体を守るよう端末の4隅や液晶がカバーできるようになっています。



Keyboard

タブレットに付属するカバーにはキーボードが付いています。タッチ操作だけでなく、ローマ字入力などのタイピング操作にも対応できるようになっています。

INDEX 01

## What's ICT?

ICTは、「情報通信技術」と訳される情報・通信に関する技術の総称で、インターネットなどを経由して人と人をつなぐ役割を果たしています。以前はデジタル化されたデータを扱う技術やモノを表現してきた「IT」という言葉が主流でしたが、情報量の増大から情報通信技術を表す「ICT」、さらにその先の技術へ移行しつつあります。

**世** 界的に進められている情報通信技術の発展。一度に扱える情報量が増大し、社会のあらゆる部分が情報通信技術によって新しいかたちに置き換えられるような大きな変革が起きています。その影響は、教育現場も例外ではありません。日本全体で子どもたちが情報化社会を生き抜くための力を育てる計画が既に始まっています。菰野町でも教育現場のICT化を進め、令和3年8月30日に町内の小中学校全ての児童生徒に1人1台タブレット端末を配備しました。

## ICT化で変わる教育現場